

■ベトナム：ベトナムエネルギー協会会長 電力セクターの改革は不可欠との見解

4月9日にハノイで開催された「ベトナム電力市場自由化セミナー」の席上で、ベトナムエネルギー協会会長は、国内外からの投資を呼び込むには電力セクターの改革が不可欠であると語った。同氏は投資喚起が必要な理由として、2025年のピーク需要は現在の約4倍になると想定され、今後莫大な設備投資が必要になってくることを挙げた。2006年に策定された電力セクターの構造改革プランでは、2015年までに競争的な発電市場を作り、2022年中までに卸取引市場を機能させ、その後、配電・小売市場の市場の自由化を開始させることになっているが、EVN（ベトナム電力公社）は、改革は電力不足を更に深刻化させる等としてこの案に反対している。なお、2007年に発表された第6次電力マスタープランでは、2015年/2025年の最大電力はそれぞれ3,150万kW/6,844万kWと予測されており、2015年/2025年の発電設備容量はそれぞれ4,234万kW/8,541万kWと計画されている。